

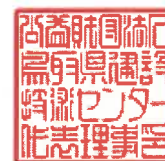


## 骨材試験成績書

郵便番号 699-1622  
依頼者 所在地 島根県仁多郡奥出雲町下阿井1766番地1  
会社名 (株)サンテック 様  
(依頼者コード= 04317)

令和5年12月14日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和6年1月12日 鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地  
公益財団法人鳥取県建設技術センター  
代表理事 河田 英明  
署名者 材料試験課長 福長 宏之



1. 試験種別	A08-1 A09-1 A11-1 A12-1 A13-1 A14-1 A18-1
2. 受付番号	231214003
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	S-20(5号)

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

# 試験結果

## 道路用骨材

受付番号	231214003	生産地・採取地	山口県周南市大字金峰
名称等	S-20(5号)	生産者・採取者	(株)鹿野興産
試験年月日	令和6年1月11日	試験責任者	大西 慶祐
備考	2023年12月14日採取		

### 試験結果

密度及び吸水率 JISA1110:2006	表乾密度	2.711 ✓ g/cm <sup>3</sup>
	かさ密度	2.699 ✓ g/cm <sup>3</sup>
	見掛密度	2.730 ✓ g/cm <sup>3</sup>
	吸水率	0.420 ✓ %
単位容積質量 JISA1104:2006		* kg/L
実積率 JISA1104:2006		* %
微粒分量 JISA1103:2014		1.1 ✓ %
すりへり減量 JISA1121:2022	粒度区分 (B区分)	30% 以下 11.4 ✓ %
安定性 JISA1122:2014		3.8 ✓ %
有機不純物 JISA1105:2015		*
塩化物 JISA5002:2003		* %
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007		2.9 ✓ %
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007		* %
粘土塊量 JISA1137:2014		0.09 ✓ %

### ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるい にとどまる 質量分率 (%)	各ふるい を通過する 質量分率 (%)
26.5	*	*	100.0 ✓
19.0	*	*	87.3 ✓
13.2	*	*	16.0 ✓
粗粒率	*		
摘要			

品質検査  
2024.1.29

### 粒度曲線

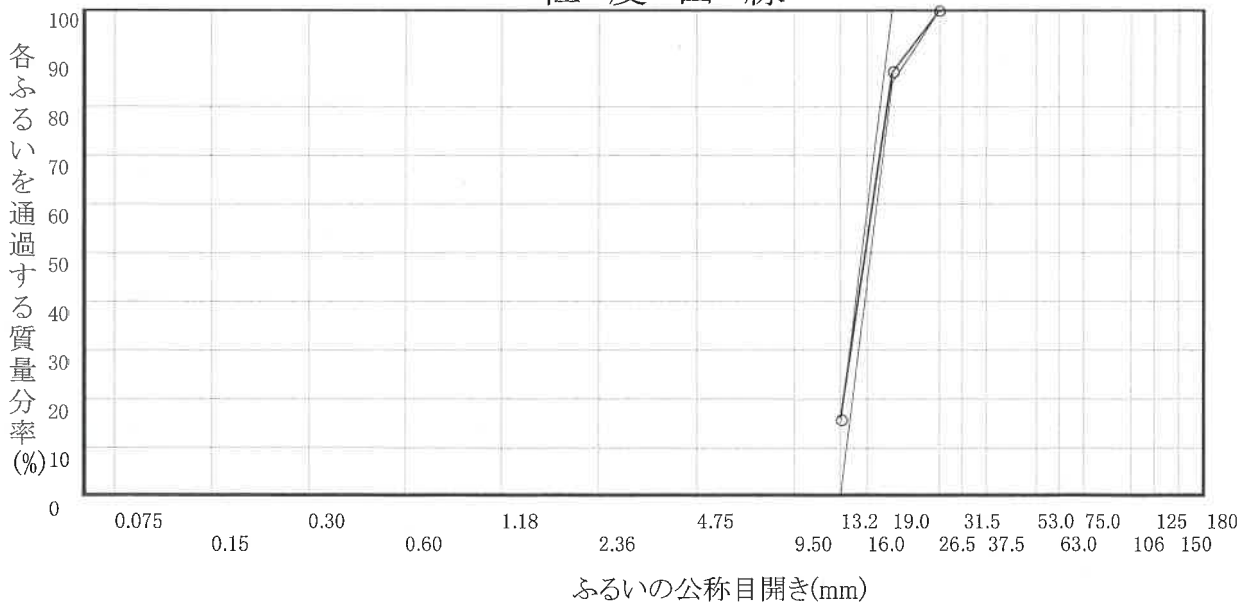


表-3.3.9 砕石の粒度 (JIS A 5001-1995)

呼び名	ふるいを通るものの質量百分率 (%)											
	106	75	63	53	37.5	31.5	26.5	19	13.2	4.75	1.18	
S-80 (1号)	100	85~100	0~15									
S-60 (2号)		100	85~100	-	0~15							
S-40 (3号)			100	100	85~100	0~15						
S-30 (4号)				100	100	85~100	0~15					
S-20 (5号)					100	100	100	85~100	0~15			
S-13 (6号)								100	85~100	0~15		
S-5 (7号)										85~100	0~25	0~5

砕石の品質は表-3.3.10 を目標とする。

なお、呼び名別の粒度の規定に適合しない砕石であっても、他の砕石、砂等と合成したときの粒度が、混合物の所要の骨材粒度に適合すれば使用することができる。

表-3.3.10 砕石の品質の目標値

項目	用途	表層・基層	上層路盤
表乾密度 (g/cm <sup>3</sup> )		2.45 以上	-
吸水率 (%)		3.0 以下	-
すり減り減量 (%)		30 以下	50 以下

[注] 表層、基層用砕石のすり減り減量試験は、粒径 13.2~4.75mm のものについて実施する。

砕石は、同種の原石でも原石の産出場所、あるいは使用する破砕機の種類によっては、偏平に割れることがあるので注意が必要である。特にポラスアスファルト混合物に使用するためには、偏平な石の含有量が多いほど透水性が低下する傾向があるため、可能な範囲で偏平な石の含有量の少ないものを用いる。

さらに、花崗岩や頁岩などを含む砕石で、加熱することによってすり減り減量が大きくなったり、破壊したりするものは、特に表層およびポラスアスファルト混合物に用いてはならない。

砕石の耐久性を損なう原因の一つに、目視では判断できない微細なひび割れ等がある。これを硫酸ナトリウムによる安定性試験で判定するときの目標値を表-3.3.11 に示す。また、表層や基層に用いる砕石で、特に有害物含有量を判定するときの目標値を表-3.3.12 に示す。

凍結防止剤として用いられている、塩化カルシウムや尿素などによって変質する砕石もあるので、特に積雪寒冷地において実績のない砕石を用いる場合には、使用する砕石をその薬剤に浸してみるなど、変質しないことを確認する必要がある。

表-3.3.11 安定性試験の目標値

用途	表層・基層	上層路盤
損失量 (%)	12 以下	20 以下

表-3.3.12 有害物含有量の目標値

含有物	含有量(全試料に対する質量百分率%)
粘土、粘土塊	0.25 以下
軟らかい石片	5.0 以下
細長、あるいは扁平な石片	10.0 以下

2) 玉 砕

玉砕は、玉石または砂利を砕いたもので、4.75mm ふるいにとどまるもののうち、質量で40%以上が少なくとも1つの破砕面をもつものを用いる。特にポラスアスファルト混合物に使用するためには、所定の空隙率を確保することが困難となることがあるので、出来るだけ多くの破砕面を持つものを使用する。粒度および品質は、砕石の規格および品質を準用する。

玉砕の原料となる玉石や砂利は、種々の材質をもつ玉石からできており、もろく砕けやすい等が混じる場合がある。また、水による剥離が問題と

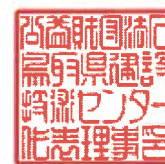


## 骨材試験成績書

郵便番号 699-1622  
依頼者 所在地 島根県仁多郡奥出雲町下阿井1766番地1  
会社名 (株)サンテック 様  
(依頼者コード= 04317)

令和5年12月14日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和6年1月12日 鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地  
公益財団法人鳥取県建設技術センター  
代表理事 河田 英明  
署名者 材料試験課長 福長 宏之



1. 試験種別	A08-1 A09-1 A11-1 A12-1 A13-1 A14-1 A18-1
2. 受付番号	231214003
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	S-13(6号)

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

# 試験結果

## 道路用骨材

受付番号	231214003	生産地・採取地	山口県山口市宮野上入野東
名称等	S-13(6号)	生産者・採取者	石田採石(株)
試験年月日	令和6年1月11日	試験責任者	大西 慶祐
備考	2023年12月14日採取		

### 試験結果

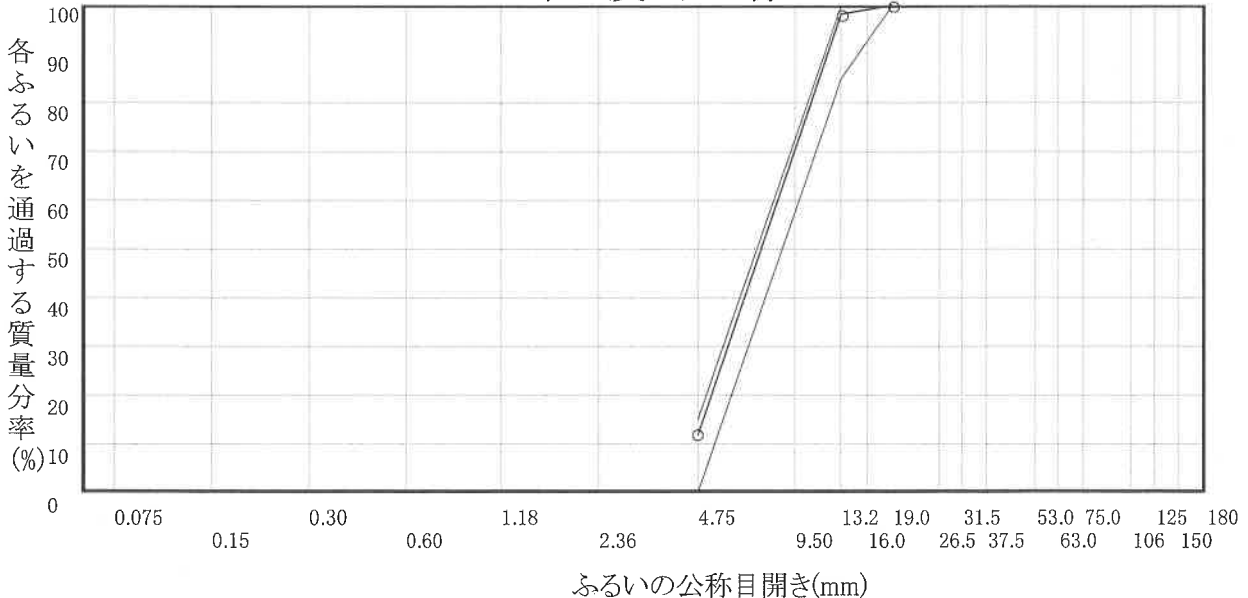
密度及び吸水率 JISA1110:2006	表乾密度	2.725 <sup>✓</sup> g/cm <sup>3</sup>
	かさ密度	2.709 <sup>✓</sup> g/cm <sup>3</sup>
	見掛密度	2.754 <sup>✓</sup> g/cm <sup>3</sup>
	吸水率	0.600 <sup>✓</sup> %
単位容積質量 JISA1104:2006		* kg/L
実積率 JISA1104:2006		* %
微粒分量 JISA1103:2014	0.9 <sup>✓</sup> %	
すりへり減量 JISA1121:2022	粒区分 30%以下 (*) 11.2 <sup>✓</sup> %	
安定性 JISA1122:2014	3.6 <sup>✓</sup> %	
有機不純物 JISA1105:2015	*	
塩化物 JISA5002:2003	*	%
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007	3.3 <sup>✓</sup> %	
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007	*	%
粘土塊量 JISA1137:2014	0.05 <sup>✓</sup> %	

### ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

ふるいの公称目開き(mm)	種別	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率(%)	各ふるいにとどまる質量分率(%)	各ふるいを通過する質量分率(%)
19.0		*	*	100.0 <sup>✓</sup>
13.2		*	*	98.2 <sup>✓</sup>
4.75		*	*	12.0 <sup>✓</sup>
粗粒率	*			
摘要				

2024.1.11

### 粒度曲線



--	--	--	--

## 骨材の形状試験

試験採取場所 山口県山口市宮野上入野東

試験年月日 2024年 2月 5日

種類 6号砕石

使用場所・目的 カネックス株式会社

試験者 越川康弘

材質 硬質砂岩

NO.	項目	計算式	1回目	2回目	3回目
①	試験試料の質量 (g)		1510.3	1489.5	1475.7
②	2.36mmのふるいにとどまった質量(g)		1459.9	1443.3	1423.2
③	細長いあるいは扁平と判定された骨材の質量 (g)		103.1	104.2	103.2
④	細長いあるいは扁平と判定されなかった骨材の質量 (g)	②- ③	1356.8	1339.1	1320.0
⑤	細長いあるいは扁平の骨材の含有量 (%)	$\frac{③}{③+④} \times 100$	7.1	7.2	7.3
⑥	平均値 (%)		7.2		

備考：



## 骨材試験成績書

郵便番号 699-1622

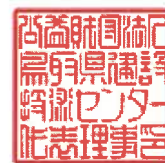
依頼者 所在地 鳥根県仁多郡奥出雲町下阿井1766番地1  
会社名 (株)サンテック 様

(依頼者コード= 04317)

令和5年12月14日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和6年1月12日

鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地  
公益財団法人鳥取県建設技術センター  
代表理事 河田 英明  
署名者 材料試験課長 福長 宏之



1. 試験種別	A08-1 A09-1 A11-1 A12-1 A13-1 A14-1 A18-1
2. 受付番号	<b>231214003</b>
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	S-5(7号)

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

# 試験結果

## 道路用骨材

受付番号	231214003	生産地・採取地	岡山県真庭市神代
名称等	S-5(7号)	生産者・採取者	(株)マルケイ
試験年月日	令和6年1月11日	試験責任者	大西 慶祐
備考	2023年12月14日採取		

### 試験結果

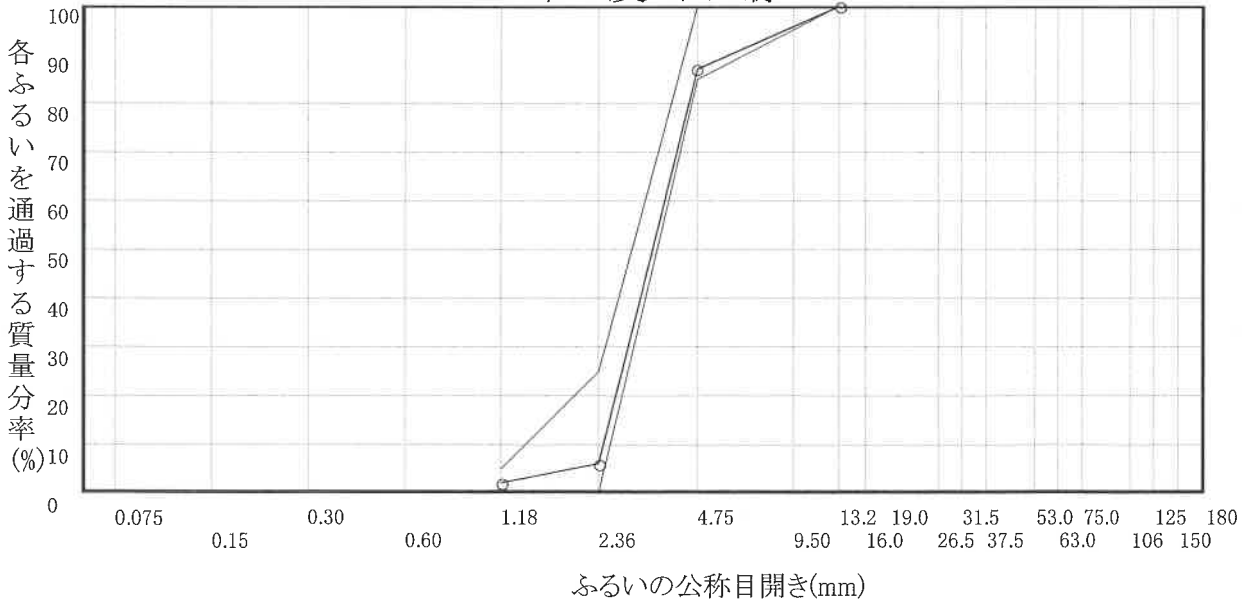
密度及び吸水率 JISA1110:2006	表乾密度	2.675 ✓ g/cm <sup>3</sup>
	かさ密度	2.661 ✓ g/cm <sup>3</sup>
	見掛密度	2.697 ✓ g/cm <sup>3</sup>
	吸水率	3.0% 以下 0.493 ✓ %
単位容積質量 JISA1104:2006		* kg/L
実積率 JISA1104:2006		* %
微粒分量 JISA1103:2014		0.9 %
すりへり減量 JISA1121:2022	粒度区分 (D区分)	30% 以下 18.8 ✓ %
安定性 JISA1122:2014		1.3 ✓ %
有機不純物 JISA1105:2015		*
塩化物 JISA5002:2003		* %
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007		0.0 ✓ %
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007		* %
粘土塊量 JISA1137:2014		0.11 ✓ %

### ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

種別 ふるいの公称目開き (mm)	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
13.2	*	*	100.0 ✓
4.75	*	*	87.1 ✓
2.36	*	*	6.1 ✓
1.18	*	*	2.1 ✓
粗粒率	*		
摘要			

2024.1.29

### 粒度曲線







(1/2)

鳥建技第 346951号

## 骨材試験成績書

郵便番号 699-1622

依頼者 所在地 島根県仁多郡奥出雲町下阿井1766番地1

会社名 (株)サンテック 様

(依頼者コード= 04317)

令和5年12月14日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

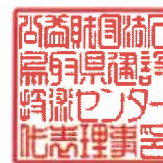
令和6年1月12日

鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地

公益財団法人鳥取県建設技術センター

代表理事 河田 英明

署名者 材料試験課長 福長 宏之



1. 試験種別	A01-1 A02-1 A04-1 A06-1 A07-1 A18-1
2. 受付番号	231214003
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	加工砂

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

# 試験結果

## 道路用骨材

受付番号	231214003	生産地・採取地	島根県仁多郡奥出雲町下阿井
名称等	加工砂	生産者・採取者	(株)サンテック
試験年月日	令和6年1月11日	試験責任者	大西 慶祐
備考	2023年12月14日採取		

### 試験結果

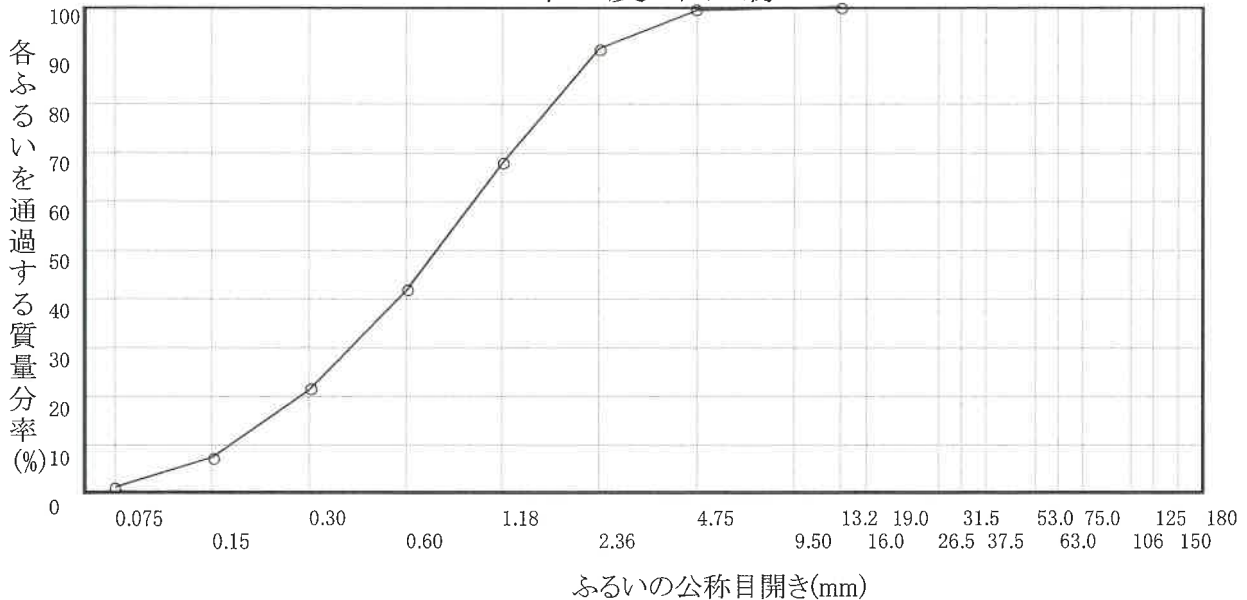
密度及び 吸水率 JISA1109: 2006	表乾密度	2.585 ✓ g/cm <sup>3</sup>
	かさ密度	2.553 ✓ g/cm <sup>3</sup>
	見掛密度	2.637 ✓ g/cm <sup>3</sup>
	吸水率	1.248 ✓ %
単位容積質量 JISA1104:2006		* kg/L
実積率 JISA1104:2006		* %
微粒分量 JISA1103:2014		1.7 ✓ %
すりへり減量 JISA1121:2022	粒度区分 (*)	* %
安定性 JISA1122:2014		1.9 ✓ %
有機不純物 JISA1105:2015	標準色液の色よりも淡い	
塩化物 JISA5002:2003		* %
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007		* %
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007		* %
粘土塊量 JISA1137:2014		0.14 ✓ %

### ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるいに とどまる 質量分率 (%)	各ふるいを 通過する 質量分率 (%)
13.2	*	*	100.0 ✓
4.75	*	*	99.4 ✓
2.36	*	*	91.5 ✓
1.18	*	*	68.1
0.60	*	*	42.0 ✓
0.30	*	*	21.6 ✓
0.15	*	*	7.4 ✓
0.075	*	*	1.4 ✓
受皿	*	*	*
粗粒率	*		
摘要			

2024.1.29

### 粒度曲線





## 骨材試験成績書

郵便番号 689-2201  
依頼者 所在地 鳥取県東伯郡北栄町西園316-1  
会社名 (有)永田商事 様  
(依頼者コード= 08023)

令和5年12月20日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和6年1月12日

鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地  
公益財団法人鳥取県建設技術センター  
代表理事 河田 英明  
署名者 材料試験課長 福長 宏之



1. 試験種別	A01-1 A02-1 A03-1
2. 受付番号	231220022
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	天然砂

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

# 試験結果

## コンクリート用骨材

受付番号	231220022	生産地・採取地	東伯郡北栄町(北条砂丘)地内
名称等	天然砂	生産者・採取者	(有)永田商事
試験年月日	令和6年1月11日	試験責任者	大西 慶祐
備考	細砂		

## 試験結果

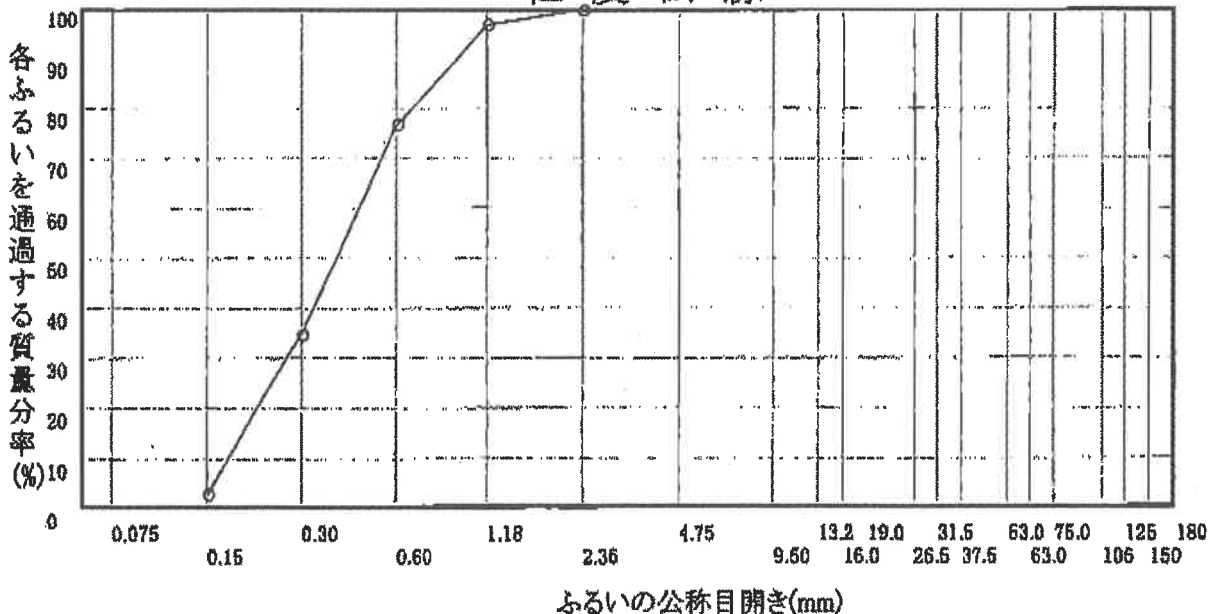
密度及び 吸水率 JISA1109: 2006	表乾密度	2.55 ✓ g/cm <sup>3</sup>
	絶乾密度	2.48 ✓ g/cm <sup>3</sup>
	見掛密度	* g/cm <sup>3</sup>
	吸水率	2.64 ✓ %
単位容積質量 JISA1104:2006	1.56 ✓ kg/L	
実積率 JISA1104:2006	62.9 ✓ %	
微粒分量 JISA1103:2014	* %	
すりへり減量 JISA1121:2022	粒度区分 (*)	* %
安定性 JISA1122:2014	* %	
有機不純物 JISA1105:2015	*	
塩化物 JISA5002:2003	* %	
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007	* %	
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007	* %	
粘土塊量 JISA1137:2014	* %	

## ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるいに とどまる 質量分率 (%)	各ふるいを 通過する 質量分率 (%)
16.0	*	*	*
9.50	*	*	*
4.75	*	*	*
2.36	0	0	100 ✓
1.18	3	3	97 ✓
0.60	20	23	77 ✓
0.30	42	65	35 ✓
0.15	32	97	3 ✓
0.075	*	*	*
受皿	3	100	0
粗粒率	1.88		
摘要			

2024.2.9

## 粒度曲線



受付番号: SP-230300062-1  
発行番号: SP2300188-1-A-1/1  
2024年2月1日 発行

# 試験報告書

足立石灰工業株式会社

殿

試料の区分: 石灰等  
試料の名称: 炭カル(舗装用フィラー) 令和6年2月分  
試料採取日: 2024/01/22  
試料採取者: 持込試料  
試料採取場所: 足立石灰工業  
依頼年月日: 2024/01/24

事業者 公益財団法人岡山県環境保全事業団  
事業所 公益財団法人岡山県環境保全事業団環境調査分析部  
〒701-0212 岡山県岡山市南区内尾665-1  
TEL: 086-298-2616 FAX: 086-298-2617  
登録番号 岡山県知事登録 第6-1号, 第7-1号及び第8-1号



試験管理者 環境計量士 藤原 由紀




上記試料について試験の結果を下記の通り報告します。

試験の項目	試験の単位	試験の結果	試験の方法
密度	-	2.70 ✓	比重瓶法
水分含有率	%	0.01 未満 ✓	JIS A5008 3.3.1
熱耐久性	-	変化なし	目視(200°C, 1時間加熱による変化)
粒度(通過率 600 μm)	%	100	JIS A5008 3.3.2
粒度(通過率 300 μm)	%	100	JIS Z8815 6
粒度(通過率 150 μm)	%	98.0 ✓	JIS A5008 3.3.2
粒度(通過率 75 μm)	%	88.2 ✓	JIS A5008 3.3.2
以下余白			2024.2.9 JIL

備考	結果については、現物あたり。
----	----------------

- 注記 (1) 本試料は持込試料であり、試料採取について当団は一切関わっておりません。  
(2) 当団の許可なく、本報告書記載事項の一部のみ複製(変更)することを禁じます。  
(3) 試験の結果が「・・・未満」とあるのは、定量下限値未満であることを示します。

様式-7

再生骨材試験結果一覧表			
製造所	カネックス㈱リサイクル工場	報告年月日	2024年1月22日
種類	再生骨材(13 ~ 0)	試験者氏名	越川康弘 

試験項目	平均値	再生骨材規格	
粒度試験結果・通過率(%)	19.0 (mm)	100 ✓	-
	13.2	97.2 ✓	-
	4.75	71.2 ✓	-
	2.36	49.3 ✓	-
	0.60	29.9 ✓	-
	0.30	21.2 ✓	-
	0.15	16.3 ✓	-
	0.075	8.2 ✓	-
旧アスファルト含有量(%)	5.01 ✓	3.8以上	
旧アスファルト針入度 (1/10mm)	22 ✓	20以上	
洗試験損質量(%)	1.7 ✓	5以下	
最大比重(g/cm <sup>3</sup> )	2.463 ✓	-	
骨材比重(g/cm <sup>3</sup> )	-	-	

備考

2024年2月1日

御中

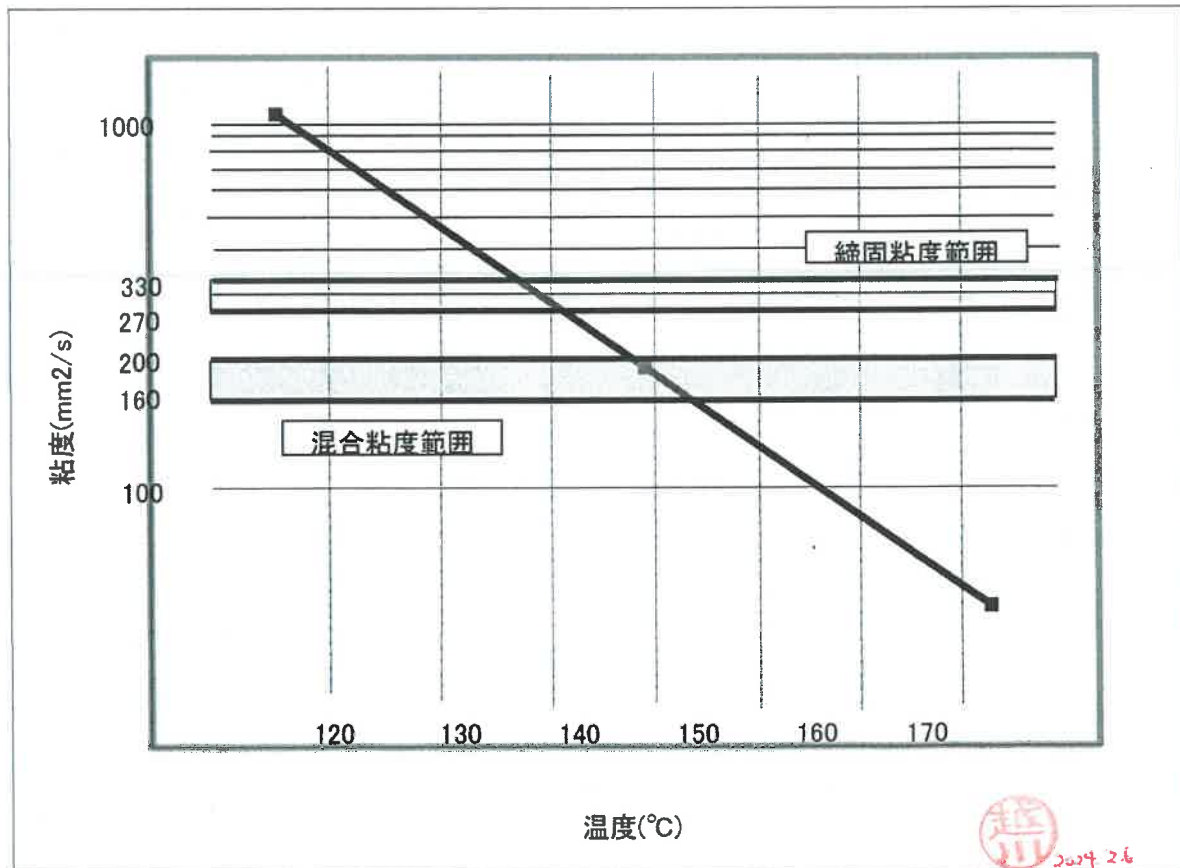
伊藤忠エネチ株式会社



### アスファルト試験成績表

品名: ストレート アスファルト60-80  
(2月代表性状)

製造所: SK energy		試験月日: 2024/2/4	No.: PP-2402-4178
項目	規格値	性 状	
針入度 (25°C) 1/10mm	60~80	69 ✓	
軟化点 °C	44.0~52.0	49.0 ✓	
伸度 (15°C) cm	100以上	150+ ✓	
トルエン可溶分mass %	99.0以上	99.95 ✓	
引火点 °C	260以上	324+ ✓	
薄膜加熱質量変化率 mass%	0.6以下	-0.10 ✓	
薄膜加熱後の針入度残留率 %	55以上	69.6 ✓	
蒸発後の針入度比 %	110以下	96.9 ✓	
密度 (15°C) g/cm <sup>3</sup>	1.000以上	1.042 ✓	
動粘度 mm <sup>2</sup> /s	120°C	970	
	150°C	207	
	180°C	66.9	
混合温度 °C		151~156 ✓	
締固温度 °C		140~144 ✓	



2024.2.6

2024年2月1日

御中

伊藤忠I初株式会社

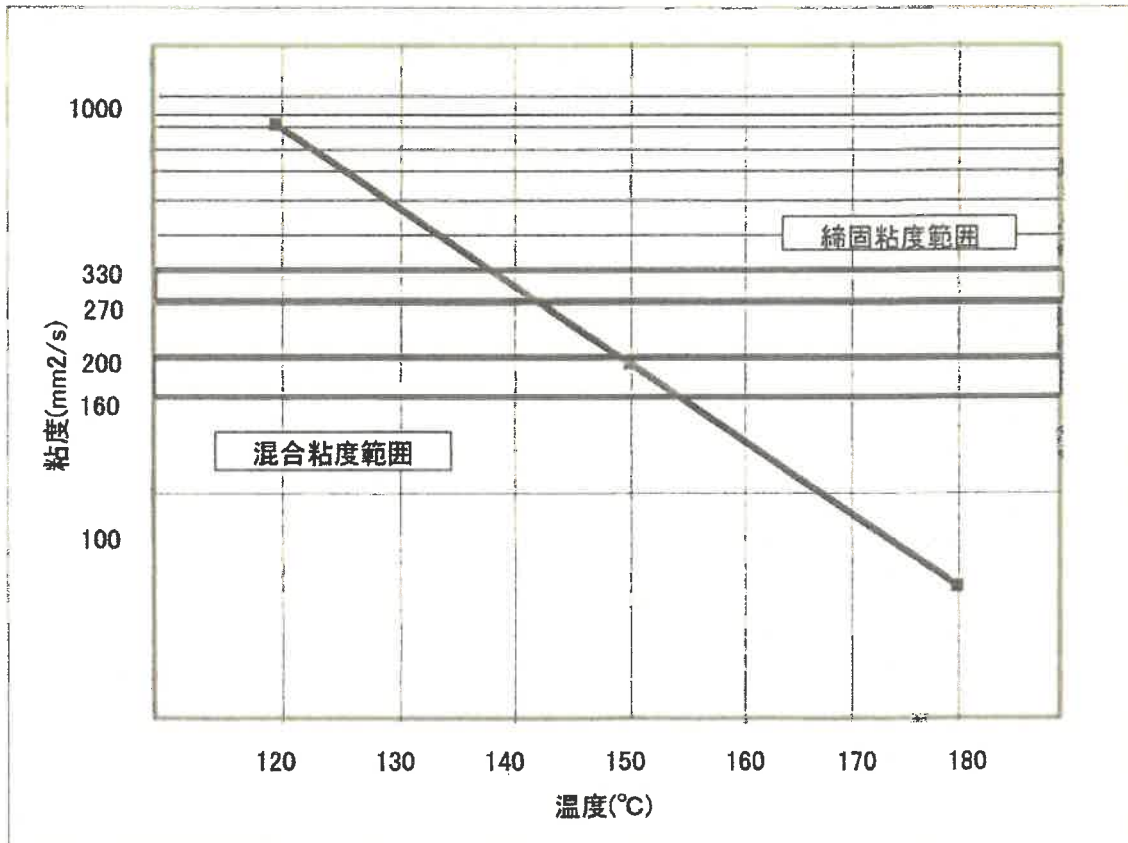


アスファルト試験成績表

品名: ストレート アスファルト80-100

(2月代表性状)

製造所: SK energy		試験月日: 2024/1/31	No.: PP-2310-5262
項目		規格値	性状
針入度 (25°C) 1/10mm		80~100	87
軟化点 °C		42.0~50.0	47.2
伸度 (15°C) cm		100以上	150+
トルエン可溶分 mass %		99.0以上	99.94
引火点 °C		260以上	324
薄膜加熱質量変化率 mass %		0.6以下	-0.09
薄膜加熱後の針入度残留率 %		50以上	66.7
蒸発後の針入度比 %		110以下	97.5
密度 (15°C) g/cm <sup>3</sup>		1.000以上	1.038
動粘度 mm <sup>2</sup> /s	120°C	-	823
	150°C	-	192
	180°C	-	65.7
混合温度 °C			149~154
締固温度 °C			138~142







したものであり、再生路盤材料の素材として利用される。表-2.3.2に再生路盤材料として使用する場合のセメントコンクリート再生骨材の品質の目標値を示す。

セメントコンクリート発生材のうち、一般建設系のセメントコンクリート発生材には、タイルや陶磁器類、石膏ボード類、木片、プラスチック片、金属などの異物が混入している場合がある。粒状路盤材料は、骨材のかみ合わせにより支持力を確保するものであるが、これら異物の混入により支持力の低下が懸念されるため、異物が混入しないように十分注意する。

表-2.3.2 再生路盤材料の素材として用いる場合のセメントコンクリート再生骨材の品質

項目	目標値
すり減り減量 %	50以下

[注1]すり減り減量の試験は、粒径が13~5mmの骨材を用いて行う。  
 [注2]安定性試験については省略したのは、そこに含まれる材料については既に一度材料規格試験が行われていることからこれらの性状については問題ないと判断されるからである。

#### 2-3-4 路盤再生骨材

路盤再生骨材は、路盤発生材を必要に応じて破碎、分級したものであり、再生路盤材料の素材として利用される。

#### 2-3-5 新アスファルト

新アスファルトは、不足するアスファルト量を補うためや旧アスファルトの性状を回復させるために再生加熱アスファルト混合物や再生加熱アスファルト安定処理路盤材料の製造時にプラントで添加するアスファルトをいう。表-2.3.3に

「JIS K 2207:1996 石油アスファルト」から使用される新アスファルトの品質規格を示す。なお、JIS K 2207以外にも、針入度が300以上のストレートアスファルトや改質効果を有するアスファルトなど、針入度やその他の性状が異なるが新アスファルトとして利用できるものもある。この場合、再生加熱アスファルト混合物として混合性、施工性、供用性など所要の性状が得られることを確認した上で使用するとよい。

表-2.3.3 新アスファルトの品質規格

項目	種類	40~60	60~80	80~100	100~120	120~150	150~200	200~300
針入度(25℃)	1/10mm	40を超え 60以下	60を超え 80以下	80を超え 100以下	100を超え 120以下	120を超え 150以下	150を超え 200以下	200を超え 300以下
軟化点	℃	47.0~55.0	44.0~52.0	42.0~50.0	40.0~50.0	38.0~48.0	30.0~45.0	30.0~45.0
伸度(15℃)	cm	10以上	100以上	100以上	100以上	100以上	100以上	100以上
トルエン可溶分	%	99.0以上	99.0以上	99.0以上	99.0以上	99.0以上	99.0以上	99.0以上
引火点	℃	260以上	260以上	260以上	260以上	240以上	210以上	210以上
薄膜加熱質量変化率	%	0.6以下	0.6以下	0.6以下	0.6以下	—	—	—
薄膜加熱後の針入度残留率%	%	58以上	55以上	50以上	50以上	—	—	—
蒸発後の針入度比	%	110以下	110以下	110以下	110以下	—	—	—
密度(15℃)	g/cm <sup>3</sup>	1.000以上	1.000以上	1.000以上	1.000以上	1.000以上	1.000以上	1.000以上

#### 2-3-6 再生用添加剤

再生用添加剤は、旧アスファルトの針入度などの性状を回復させるために再生加熱アスファルト混合物や再生加熱アスファルト安定処理路盤材料に添加するものをいう。これには新アスファルトは含まない。再生用添加剤の標準的性状を表-2.3.4に示す。このほか、再生加熱アスファルト混合物の性状を改質アスファルト混合物相当とするための改質効果のある再生用添加剤がある。この場合、再生アスファルトおよび再生加熱アスファルト混合物として混合性、施工性、供用性など所要の性状が得られることを確認した上で使用するとよい。

なお、再生用添加剤が過度に添加された場合には、再生アスファルトの性状が著しく損なわれることがあり、特に繰り返し再生された場合にその傾向が顕著となる。そのため、再生用添加剤は、繰り返し再生利用も考慮して過度に添加しないよう留意する。

# 試験成績表

使用場所 カネックス株式会社

試験日 2024年2月12日

品名 再生アスファルト60～80

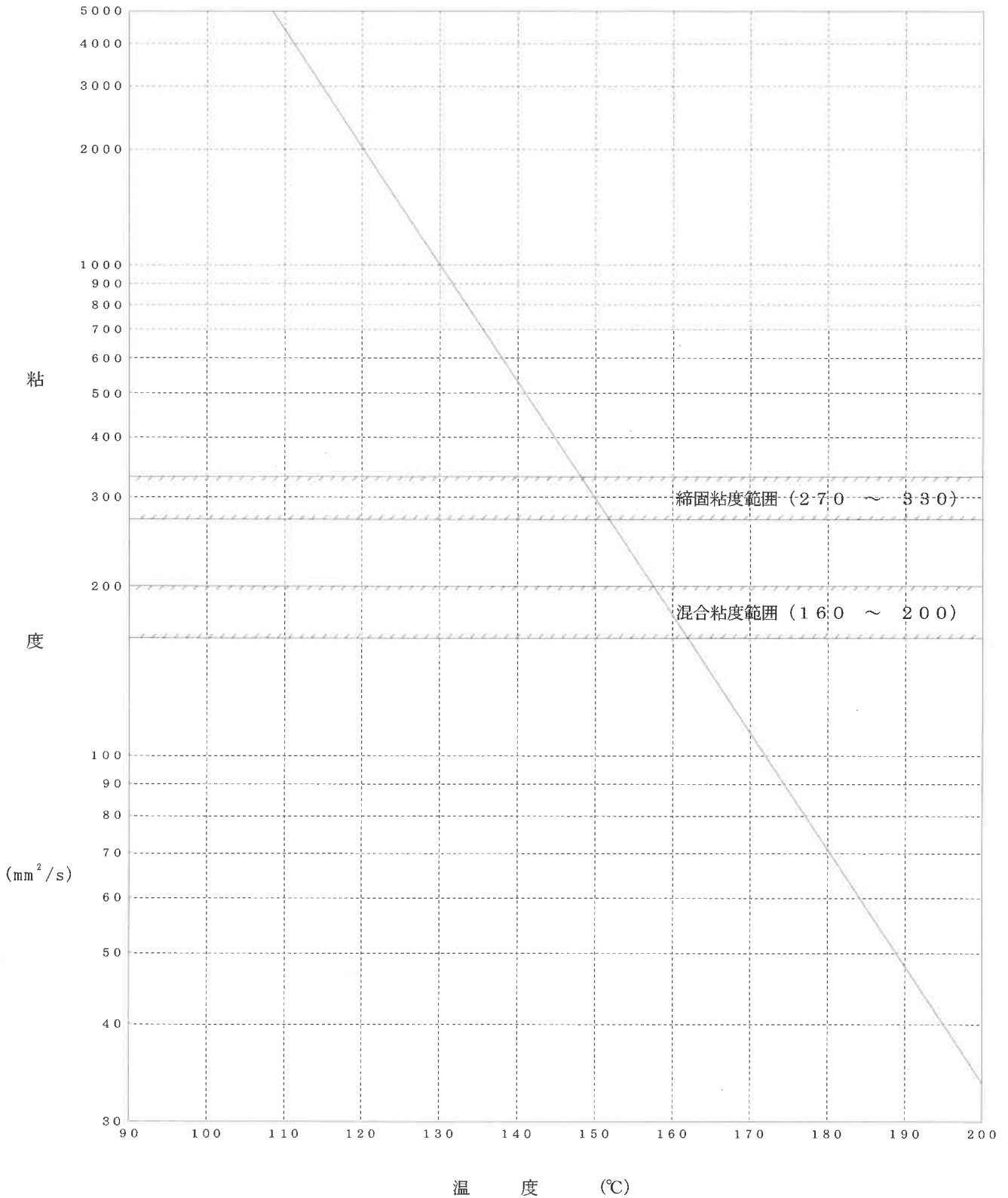
試験項目	商品規格値	試験値	
針入度(25℃) 1/100mm	60～80	62 ✓	
軟化点 °C	44.0～52.0	48 ✓	
伸度(15℃) cm	100以上	150+ ✓	
トルエン可溶分 mass%	99.00以上	99.95 ✓	
引火点 °C	260以上	345+ ✓	
薄膜加熱質量変化率 mass%	0.60以下	-0.01 ✓	
薄膜加熱後の針入度残留率 %	55.0以上	70.2 ✓	
蒸発後の針入度比 %	110.0以下	96.2 ✓	
密度(15℃) g/cm3	1.000以上	1.034 ✓	
動粘度mm <sup>2</sup> /s	120℃	---	1958
	150℃	---	298
	180℃	---	71
混合温度 °C	---	158～162 ✓	
締固め温度 °C	---	148～152 ✓	
備考			

2024.2.12

# <アスファルト粘度-温度図>

2024年 2月 12日

アスファルト種類：再生アスファルト60-80



上記のグラフより

- <最適混合温度範囲> 158°C ~ 162°C ✓
- <最適締固温度範囲> 148°C ~ 152°C ✓

2024.2.12

# 試験成績表

2024年 2月 1 日

御中

ニチレキ株式会社 姫路工場  
兵庫県姫路市飾磨区 青木  
TEL 079-235051  
FAX 079-235053

品名 ポリファルトS

試験項目		標準的性状	試験値
針入度 (25℃)	1/10mm	40以上	55✓
軟化点	℃	50.0以上	53.5✓
伸度 (7℃)	cm	30以上	72✓
引火点	℃	260以上	320✓
薄膜加熱質量変化率	%	0.6以下	-0.06✓
薄膜加熱後の針入度残留率	%	65以上	78.2✓
タフネス (25℃)	N・m	5.0以上	17.5✓
テナシティ (25℃)	N・m	2.5以上	12.2✓
密度 (15℃)	g/cm <sup>3</sup>	報告	1.032✓
備考	<ul style="list-style-type: none"><li>舗装設計施工指針（平成18年版）の「ポリマー改質アスファルト I 型の標準的性状」に適合する</li><li>試験方法：舗装調査・試験法便覧（平成31年度版）に準ずる</li><li>配合設計温度条件<ul style="list-style-type: none"><li>最適混合温度範囲 : 170 ± 3℃ ✓</li><li>最適締固め温度範囲 : 155 ± 3℃ ✓</li></ul></li></ul>		

2024.2.6

V24F6R02

B0203

# 試験成績表

2024年 2月 1 日

御中

ニチレキ株式会社 姫路工場  
兵庫県姫路市飾磨区 青島 5番地  
TEL 079-232-5051  
FAX 079-232-5053

品名 ポリファルトSS

試験項目		標準的性状	試験値
針入度 (25℃)	1/10mm	40以上	48 ✓
軟化点	℃	56.0以上	62.5 ✓
伸度 (15℃)	cm	30以上	95 ✓
引火点	℃	260以上	320 ✓
薄膜加熱質量変化率	%	0.6以下	-0.06 ✓
薄膜加熱後の針入度残留率	%	65以上	79.2 ✓
タフネス (25℃)	N・m	8.0以上	19.1 ✓
テナシティ (25℃)	N・m	4.0以上	14.4 ✓
密度 (15℃)	g/cm <sup>3</sup>	報告	1.032 ✓
備考	<ul style="list-style-type: none"><li>・舗装設計施工指針（平成18年版）の「ポリマー改質アスファルトⅡ型の標準的性状」に適合する</li><li>・試験方法：舗装調査・試験法便覧（平成31年度版）に準ずる</li><li>・配合設計温度条件<ul style="list-style-type: none"><li>最適混合温度範囲 : 178 ± 3℃ ✓</li><li>最適締固め温度範囲 : 163 ± 3℃ ✓</li></ul></li></ul>		

2024.2.1  
V24F6R02

B0303